

**工房系ランドセルメーカーの老舗 土屋鞆製造所(東京・足立区)**  
**創業者、土屋國男(84)が「ランドセル職人」として「現代の名工」受賞**  
**6年間毎日心地よく背負える丁寧な手仕事の評価**  
**子どもの背中に寄り添い 60年、累計90万個を手づくり**

工房系ランドセルメーカーの老舗、(株)土屋鞆製造所(東京都足立区)は、創業者でランドセル職人の土屋國男(つちや・くにお、84歳、東京都在住)が、卓越した技能者を表彰する厚生労働省の令和4年度「現代の名工」に選ばれました。

今回、「革ランドセル製造工」として受賞しました。

子どもたちが6年間毎日使うランドセルは、丈夫さに加え、体型が変化しても心地よく背負えることが大事です。

土屋鞆のランドセルは、耐久性や体への負担軽減といった機能面にこだわり、150以上のパーツを使い、300を超える工程(手仕事)をかけて完成します。

長く愛せるシンプルで品のある佇まいを大切にしながら、四隅を菊の花びらのように美しく寄せる職人技「菊寄せ」や、細かく均質性を追求した縫製技術など、芸術性も兼ね備えています。

そうした数々の、丁寧に繊細な手仕事が「現代の名工」として評価されました。

土屋は今回の名誉を「受賞できたのは健康で働ける環境をつくってくれた妻、社長をはじめ、スタッフ皆さんのおかげで、本当に感謝している」と話します。



土屋は「時間を超えて、愛される価値を」の思いで、高品質なものづくりを続けています

**好調から一転、生産数ほぼゼロの時期も、現在は約200人の鞆職人を指導**

土屋は岐阜県出身で、中学卒業を機に上京。鞆メーカーに入社し、ランドセルの資材調達などに約12年間従事したのち、職人に憧れ別会社に移り1年間修行、ランドセルづくりの技術を学びます。

1965年4月にランドセルの下請け工場「鞆工房土屋」(現(株)土屋鞆製造所の前身)を創業。もう一人の職人と妻のわずか3人でのスタートでした。確かなものづくりは評判となり、第二次ベビーブーム(1971~1974年)も追い風に、仕事がひっきりなしに舞い込む忙しい時期が続きます。

1990年台に入ると、少子化の影響に加えてバブル崩壊。また国内の皮革産業が、安価な海外製品に押されるように衰退し、発注元の倒産が重なります。一時は、生産数ほぼゼロ、別の仕事をしながら生計を立てる、そんな状況まで追い込まれました。

転機は息子の入社(1994年)。土屋はランドセル職人に専念し、息子(現社長)がそのものづくりの良さを世間に伝える二人三脚が始まります。質の高いランドセルは徐々に世間に認知、評価され、工房系ランドセルを代表するブランドとして知られるようになります。これまでに生産・販売したランドセルは累計90万個を超えました。

## 土屋鞆製造所

土屋は 20 年前から、若手職人の育成に力を入れています。「背中を見て覚えろ」の時代だった 2002 年、ベテラン社員が若手に手ほどきをして、技術を教える取り組みを会社として開始しました。現在土屋鞆は、約 200 人の鞆職人(従業員は 680 人、2022 年 4 月現在)を抱えます。土屋國男は今も東京・足立区の工房に顔を出し、後進の指導に当たっています。



### 販売元が一貫して手作業で製造を行う「工房系ランドセル」の 카테고리を創出

土屋は、ランドセルに“職人の技術力”という付加価値を付与することに貢献しています。機械化が進み量産品となったランドセルを、販売元が一貫して、手作業で製造を行う「工房系ランドセル」というカテゴリーを、土屋鞆として創出してきました。

土屋鞆は変わらず、機械では実現が難しい、立体感のある、芸術性の高い美しい形のランドセルを、日々作っています。



150 以上のパーツを使い、300 を超える工程全てを丁寧に...手作りで仕上げる「土屋鞆」のランドセル  
子どもたちの 6 年間の成長を支える丈夫さと、長く愛せる、シンプルで品のある佇まいを大切にしています  
右上) 擦れやすい角に放射状に革を重ねる「菊寄せ」 右下) 一切のゆがみが無い、正確な縫製技術

### 卓越した技能者(現代の名工)について

厚生労働省による「現代の名工」は、業界団体や都道府県が推薦する候補を審査し、工芸や調理、衣服など各分野で卓越した技能を持つ個人が選ばれます。1967 年に、技能者の地位や技術水準の向上を目的に創設されました。近年では、毎年約 150 人を選出・表彰しています。

土屋 國男(つちや・くにお) 84 歳 略歴

1938 年 2 月	岐阜県武儀郡富之保村(現在の関市)生まれ(2 月 3 日)
1953 年 4 月	中学卒業後、上京し、鞆メーカーの塚原鞆製造所に入社。資材調達などを担当
1963 年 4 月	独立していった先輩の姿に憧れ、自身も独立を決意。鞆メーカー正田鞆加工所に入社し、ランドセル製造の全工程に携わるなど、職人のもとで修行の日々
1965 年 4 月	<b>ランドセル職人として独立。東京・足立区に現在の(株)土屋鞆製造所の前身となる「鞆工房土屋」を創業。</b> 第二次ベビーブーム(1971~1974 年)もあり、ひっきりなしに仕事が入ってくる、引く手あまたの状況に
1974 年 11 月	東日本鞆工業組合「技能士」に認定。以降、「全国百貨店協会会長特別デザイン賞」や「経済産業省局長賞」「東京鞆創作技術コンクール」や「東京鞆ファッション 創作技術コンクール」など、数々のコンクールで受賞
1990 年代	少子化や安価な海外製品の影響を受け、国内の皮革産業が衰退。 <b>1994 年頃は家業のランドセル生産数はほぼゼロに。土屋は自信もやる気も失い、倒産寸前。</b> 別の仕事をしながら生計を立てる日々
1994 年	土屋の息子、現社長の土屋成範が家業に入る。土屋は職人として、息子はランドセルの品質の良さを伝える者として、二人三脚が始まる。翌年には、 <b>職人の技術力に光を当てた“手紙”(DM)</b> を送ると反響を得る
1997 年	光沢のあるピカピカのランドセルが主流の中、 <b>牛革の“つや消し”のランドセルが看板商品に。</b> また、この頃から「ランドセルはお子さまの個性に合わせて好きな色を選んでほしい」という思いから、カタログや WEB サイトでは、性別で分けずに製品を案内
2001 年	店舗併設型の工房として足立区(花畑 1)に移転、11 坪から 120 坪の規模に
2006 年 8 月	社名を株式会社土屋鞆製造所に変更
2012 年 3 月	日本皮革連合会「第 1 回鞆・ハンドバッグ・小物技術認定(皮革部門)」1 級取得
2022 年 7 月	日本皮革産業連合会「JAPAN LEATHER GOODS MEISTER(鞆部門)」認定



左)11 坪の工房から始まった土屋鞆(1986 年頃)、一番右が土屋國男  
中)土屋國男、東京の工房にて作業する様子(2000 年頃)  
右)工房での社会科見学の様子(2000 年頃)。子どもたちに囲まれて話す様子



左)2015 年 6 月にオープンした軽井澤工房店、創業 50 年目となる節目に開いた。真ん中が土屋國男  
右)土屋は現在、工房で後進の技術指導に従事。職人のスタッフからは「お父さん」の愛称で呼ばれています

約 200 人の職人が手作り、工房系を代表するブランド「土屋鞆」のランドセル

「土屋鞆製造所」は、1965 年創業、革製品を扱う老舗の鞆メーカーです。職人が一つひとつ手作りする工房系ランドセルメーカーを代表するブランドとして、日本製の高品質な製品を提供。これまでの累計で約 90 万個を生産販売しています。卒業する日までの 6 年間、無料の修理保証サービスをずっと付けるなど、職人が見守り続けるサービスの質も利用者に支持されています。

そんな高品質なモノづくりを支えるのが、約 200 人の職人です。職人たちは、店舗併設型の工房「土屋鞆製造所 西新井本店」(東京・足立区)と「同 軽井澤工房店」(長野・軽井沢町)の両店および、工房専用の「同 佐久工房」(長野・佐久市)で、ランドセルづくりに打ち込んでいます。

ランドセルは、150 以上のパーツを使い、300 を超える工程(手仕事)をかけて完成します。分業制でこしらえる一つのランドセルは、50 人以上の人間が携わります。何十年もランドセル職人として活躍するベテランから若手まで、平均年齢 30 代のクラフトマンが日々、切磋琢磨しています。

素材を開発する専任スタッフもいます。6 年間毎日使うランドセルは、丈夫さと背負い心地はもちろん、体形が変化しても心地よく背負えることが大事です。

6 年先を見据えて、革はもちろん芯材や金具ほか全ての要素に目を配り、着用試験、屈曲試験、耐光試験など多岐にわたるテストを重ねています。

老舗ながら、新しいランドセルやサービスに着手する、時代の変化を捉えるブランド(メーカー)で、例えば色のバリエーションも 20 年前から増やし、今では 50 色近くを揃えます。

また 2022 年度新入生向けの新製品として、性別の枠にとられないカラーが特徴のジェンダーレスなランドセル「RECO (レコ)」を開発し、大ヒットさせています。



大ヒットのジェンダーレスなランドセル「RECO」

(株)土屋鞆製造所(つちやかばんせいぞうしょ) 会社概要

社名	株式会社土屋鞆製造所	創業	1965 年
本社	〒123-0841 東京都足立区西新井 7-15-5	資本金	7000 万円
代表	代表取締役社長 土屋成範	URL	<a href="https://tsuchiya-randoseru.jp/">https://tsuchiya-randoseru.jp/</a>
事業内容	オリジナルブランドでの皮革製品を中心としたランドセル、鞆・小物の企画・製作、及び販売		
店舗数 2022.11 現在	ランドセル専門店「童具店」9 店舗、ランドセルブランド「grirose」1 店舗(計 10 店) 大人向け鞆専門店「土屋鞆製造所」15 店舗(国内 12 店、海外 3 店)、複合店 2 店舗		

—— 報道各位からの問い合わせ先 ——

株式会社ハリズリー ※ハリズリーは株式会社土屋鞆製造所の親会社です

広報事務局(Clover PR 内) 担当: 福本、富田、澤本

03-6452-5220(tel) 070-6466-6062(福本) harizury-pr@cloverpr.net (mail)

or 株式会社ハリズリー PR 八島(やしま) 070-7772-7668(tel) pr@harizury.co.jp (mail)